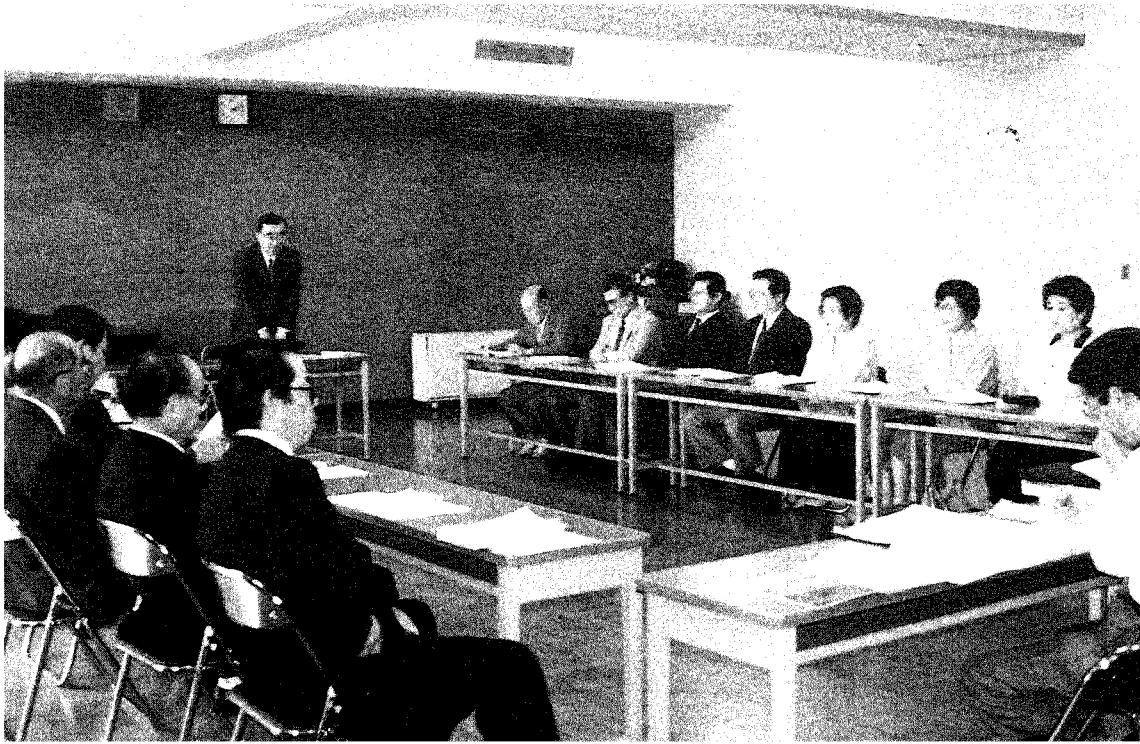


# 老人保健福祉計画策定

## お年寄りが健康で生きがいを持ち

## 安心して暮らせる地域づくりを



老人福祉計画策定のための懇話会を設置

人生八十年時代―日本は高齢化が急速に進んでいきます。今から三十年後の、二〇二〇年には四人に一人が六十五歳以上の高齢者になると予想されています。これに伴い、寝たきり老人など、介護を必要とするお年寄りも多くなるといわれています。特に、寝たきり老人は平成十二年には一〇〇万人を突破すると見込まれ、介護を必要とするお年寄りへの対応が、緊急の課題となっています。

こうした中、都留市では老人保健福祉計画策定のため懇話会を設置しました。学識経験者の皆さんの意見を、来るべき高齢化社会に備え、お年寄りが健康で生

きがいを持ち、安心して生活できるまちづくりに反映させて行こうというものです。

昨年、寝たきり老人や虚弱老人の日常生活の状況と保健・福祉に対するニーズを把握するため、市内の満六十五歳以上の老人（寝たきり等・虚弱・一般）を対象に高齢者保健福祉実態調査を実施しました。この調査は、老人保健福祉計画を策定して行く上で、重要な資料となります。調査結果をお知らせいたしますので、市民の皆さんのご意見をお寄せください。

市福祉事務所

### おしよせる

### “高齢化の波”

今回の実態調査は、都留市内に住む六十五歳以上の寝たきり老人、虚弱老人のいる全家庭と、同じく六十五歳以上のお年寄りがいる世帯を抽出して、合計六二〇世帯の皆さんのご協力を得て実施しました。

七月一日現在、都留市の人口は三万三六六七人。このうち六十五歳以上の占める割合は一四・六％（四九一九人）です。この数字は、先に発表された今年度の老人福祉

基礎調査結果（一六・一％）と比較すると多少低い値を示しているものの都留市にも着実に高齢化の波が押し寄せています。

### 主たる介護人の 約三割が“嫁”

図1・2は、寝たきり老人や虚弱老人をどなたが介護しているか、調査したものです。この結果を見ますと、「嫁」と答えた方が全体の三割以上を占め、続いて「妻」という順序になっています。こうした状況からも分かるように、特

表1 調査総数 (人)

| 区 分     | 男 性 | 女 性 | 合 計 |
|---------|-----|-----|-----|
| 寝たきり老人  | 33  | 57  | 90  |
| 虚 弱 老 人 | 117 | 193 | 310 |
| 一 般 老 人 | 108 | 112 | 220 |
| 計       | 258 | 362 | 620 |